

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Liebeおおがま		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の安全確保や支援の質向上に対する職員の意識が高く、全体的に積極的な姿勢が見られる。	活動の中で子どもたちの自主性を育む工夫をしており、自己選択・自己決定の機会を設けている。	児童のニーズに応じた支援方法を増やし、個々の特性にさらに合った対応を目指す。
2	保護者からの相対対応が丁寧で、信頼関係を築けていることが評価されている。	連絡ノートや日報の活用を通じて、支援方針のズレが生じないように工夫している。	外部研修の受講機会を増やし、より専門的な知識・技術を職員が学べるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の職員に業務が集中し、負担が偏っている可能性がある。	業務の分担が難しく、一部の職員に過度な負担がかかっている。	業務の標準化やタスク管理の工夫を通じて、負担を均等化する取り組みが必要。
2	活動スペースや備品の充実度に課題があり、児童にとって最適な環境整備が求められる。	限られたスペースの中で、活動のバリエーションを増やすことが難しい。	可能な範囲で設備の充実を図り、児童にとってより快適な支援環境を整える。
3			